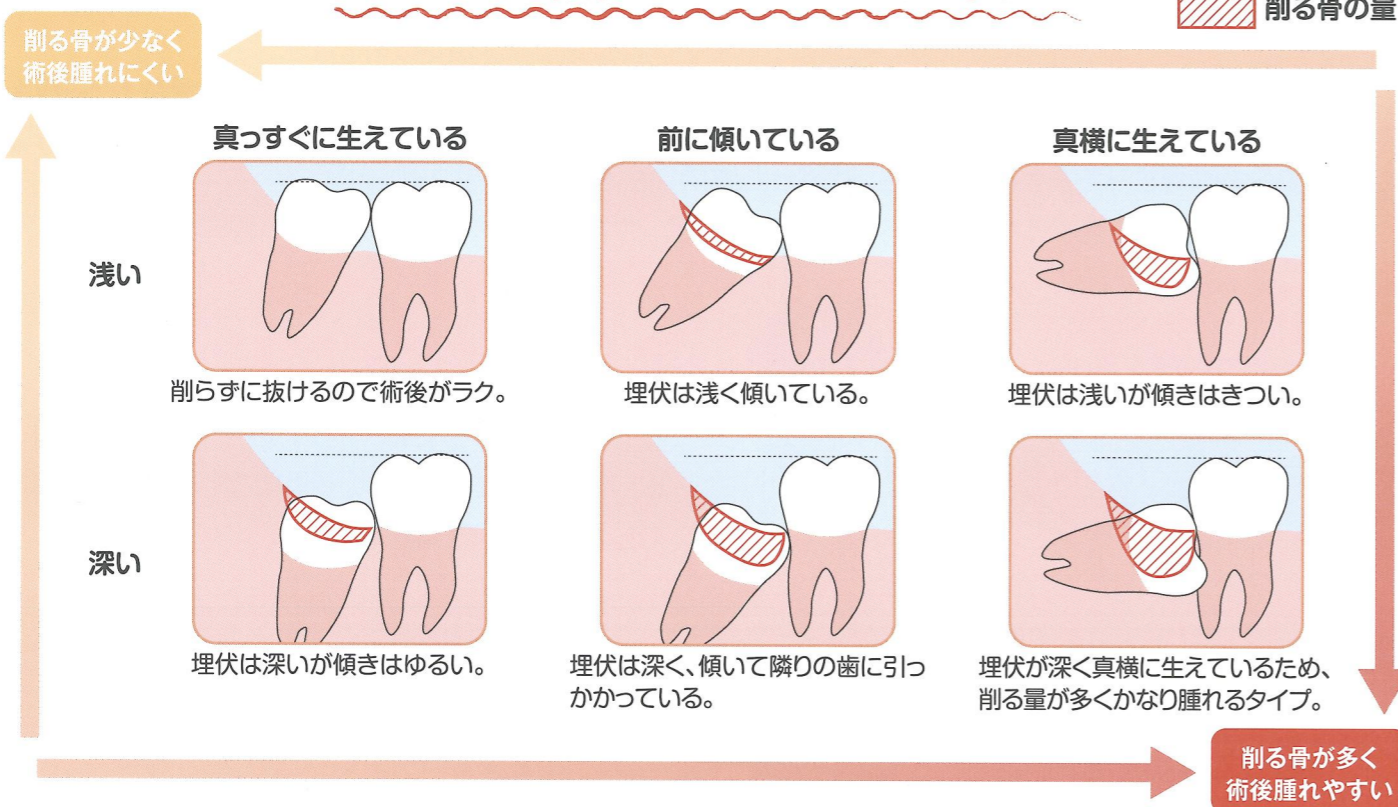


# 1 親知らずを抜くとなぜ腫れやすいの?

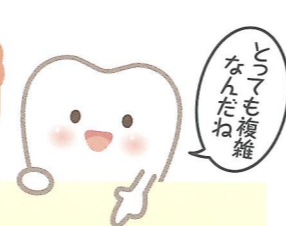


親知らずを抜くと痛みが続いたり、頬が腫れたり、熱が出ることもあります。それは他の歯とは違い、親知らずの抜歯は歯肉をめくって、骨を削り、何針か縫うこともある手術だからです。骨をたくさん削るとその量に比例して術後の出血や腫れる症状が増えます。つまり、親知らずが深く埋まった状態で傾きがきつい程、骨を削らなくてはならず症状がでるのです。

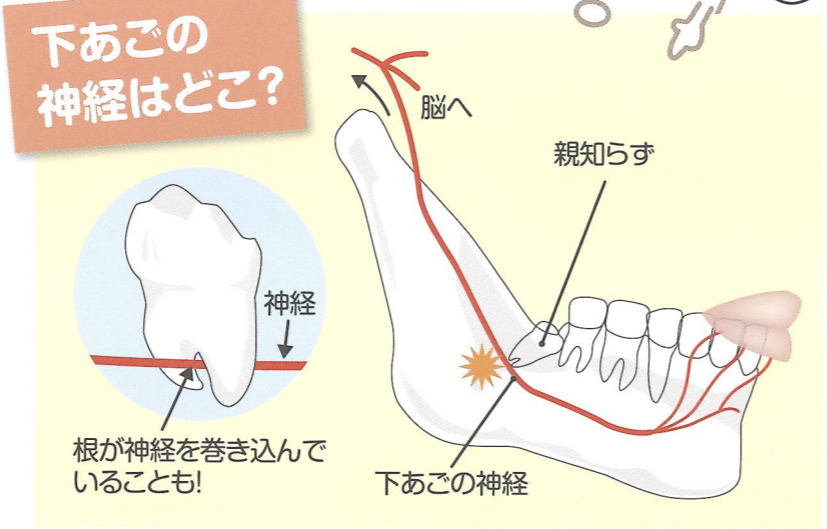
## あなたの親知らずはどのタイプ?



# 2 難易度が高い親知らずの手術



親知らずの抜歯は時に困難なものもあります。それは下あごの親知らずの歯根とその近くに通っている太い下歯槽神経がピタリと接している場合です。ピタリと接している場合神経が傷ついていなくても、くちびるやくちびるの下にしびれが出るのがごくまれに起こります。ほとんどは1~3ヵ月で治ります。もし、麻酔が切れたときにしびれを感じたかたは、かかりつけの歯科医に相談しましょう。



# 3 歯を抜いた後に気を付けたい6項目

痛みは通常1~4日、腫れは4日~1週間ほど以下のことに気を付けてとくに当日は安静に過ごしましょう。

<p><b>止血のためにガーゼを噛みましょう</b></p> <p>ご家庭で出血量が増えた時は清潔なガーゼやティッシュを丸めて20分程度強めに噛みましょう。</p>	<p><b>ぶくぶくうがいはしないでください</b></p> <p>傷口を塞いだ血糊がはがれ、傷の治りが悪くなるのでぶくぶくうがいはやめましょう。</p>	<p><b>鎮痛薬は痛むときだけ。抗生剤は処方どおりに。</b></p> <p>鎮痛薬は痛むときだけでかまいませんが、抗生剤は処方通りに最後まできちんと飲みましょう。</p>
<p><b>冷たすぎるシップはかえって痛みのもと。</b></p> <p>腫れて熱をもつ時は、冷たい水で濡らしたタオルで冷やす程度にしましょう。</p>	<p><b>当日は歯みがき、激しい運動、入浴、飲酒を避けましょう。</b></p> <p>傷口を刺激したり血行がよくなると、血が止まりにくくなります。</p>	<p><b>頬の内出血は心配いりません。</b></p> <p>術後3~4日程度は大きく腫れることがあります。また、頬に内出血が出ることがありますが、2週間もすれば消えるので心配ありません。</p>

## その痛みドライソケットかも?

正常なら親知らずを抜いた部分に血液が固まって保護をしてくれるのですが、血液で保護できずに骨の面がむき出しになると、2週間以上痛みが続く場合があります。ほとんどの場合は、時間とともに痛みは無くなりますが、痛みが長引く場合は、かかりつけの歯科医に相談しましょう。

親知らずを残したばかりに、大切な手前の歯まで失ってしまうと大変です。奥歯や歯ぐきが腫れた、痛みがあるなど、気になることがあれば、放置せずかかりつけの歯科で相談しましょう。親知らずでもきれいに生えていたり、骨の奥に埋まっているものは抜かなくていい場合もあります。

## コラム なぜななめに生えてくるの?

上のグラフは、1930年代から1980年代の間で生まれた人々を対象に、親知らずがななめに生えたり、埋伏している頻度を示したグラフです。1930年頃から近代化の影響が食生活にも現れ、それに伴う食生活の変化が歯や顎骨に影響したと推測されます。現代ではほぼ7割の人が親知らずがななめに生えたり、埋伏したりしています。

## ～時には僕も救世主!～

ダメになった歯を抜いて、親知らずを移植できる場合があります。(保険適応は部位等の条件があります。)

親知らずを移植

むし歯